

DTPデータ入稿シート

入稿日	年 月 日	御社名	
品名		ご担当者名	
入稿形態・ メディア	FD・MO・CD・DVD 計 枚 メール・その他	T E L	
		F A X	

サイズ		色数		ページ数	
出力用ファイル名					
使用 OS	<input type="checkbox"/> Mac OS (Ver.) <input type="checkbox"/> Windows				
使用アプリケーション	<input type="checkbox"/> QuarkXPress (Ver.) <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> InDesign (Ver.) <input type="checkbox"/> Illustrator (Ver.) <input type="checkbox"/> Photoshop (Ver.)				
使用フォント	<input type="checkbox"/> 全てアウトライン済み <input type="checkbox"/> OCF <input type="checkbox"/> CID <input type="checkbox"/> OTF <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>●モリサワ</p> <input type="checkbox"/> 細明朝体 <input type="checkbox"/> 中ゴシック体 <input type="checkbox"/> 中ゴシックBBB <input type="checkbox"/> 太ミンA101 <input type="checkbox"/> 太ゴB101 <input type="checkbox"/> 見出しミンMA31 <input type="checkbox"/> 見出しゴMB31 <input type="checkbox"/> リュウミン (L・R・M・B・H・U) <input type="checkbox"/> 新ゴ (L・R・M・B・U・H) <input type="checkbox"/> 新丸ゴ (L・R・M・DB・B・H・U) <input type="checkbox"/> ゴシックMB101 (B・H・U) <input type="checkbox"/> じゅん (101・34・201・501) <input type="checkbox"/> 新正楷書CBSK1 <input type="checkbox"/> 教科書ICA (R・M) </div> <div style="width: 48%;"> <p>●フォントワークス (<input type="checkbox"/> Plus)</p> <input type="checkbox"/> ロダン (L・M・DB・B・EB・UB) <input type="checkbox"/> マティス (L・M・DB・B・EB・UB) <input type="checkbox"/> スーラ (M・DB・B・EB) <input type="checkbox"/> セザンヌ (M・DB・B・EB) <input type="checkbox"/> その他 (使用フォントをすべて書いてください) </div> </div>				
写真分解	透過： 点 反射： 点 合計： 点 RGB画像補正 点				

その他注意事項 (具体的な指示等は出力見本紙にお書き添え下さい)

●データの受け渡しについて

- ・DTP 入稿シート：DTP 入稿シートに必要事項を記入し、データに添付願います。
- ・出力見本紙の添付：弊社にて出力されたカンブを同封して下さい。（可能なかぎり原寸にて。縮小されている場合は明記して下さい。）
アタリ画像貼替え指示および加工指示や特色指示、その他注意事項などがある場合はカンブへ詳細をご記入下さい。
- ・入稿ファイル：出力に必要なファイルのみ入稿して下さい。
画像処理などをご依頼される場合に必要となるデータ（統合前の PSD ファイル、アウトライン前の AI ファイル等）がある場合は、それらも過不足のないように入稿して下さい。
また、ファイル名は重複のないように付けて下さい。別々のフォルダに同じ名前が違うファイルが存在したりすることのないよう、お願いいたします。画像リンク不良によるトラブルの原因になります。

●フォントについて

- ・フォントタイプ：OCF、CID、OTF などの使用されるフォントの種類は、どれか一つに統一して下さい。
- ・アウトライン化：弊社出力対応フォント(DTP データ入稿シート)以外の日本語フォントは、アウトライン化して下さい。
欧文フォントについては、全てアウトライン化していただくか、フォントファイルを添付して下さい。

●カラーパレット(カラースウォッチ)について

- ・パレット作成：カラーの作成は印刷仕様に則して行って下さい。カラー印刷の場合は CMYK モードにて。
また、特色使用の場合を除き、スポットカラーは使用しないで下さい。
- ・カラー名称：同一物件内で使用される全てのファイルにおいて、同名のカラーパレットが複数存在し、それぞれ設定内容が違うということのないように作成願います。
色化けの原因となります。
したがって、Illustrator で新規カラー作成時にデフォルトで表示される名称「新規カラースウォッチ」をそのまま用いるのは避け、色成分を表す名称「c100m100」等で作成して下さい。

●その他基本事項

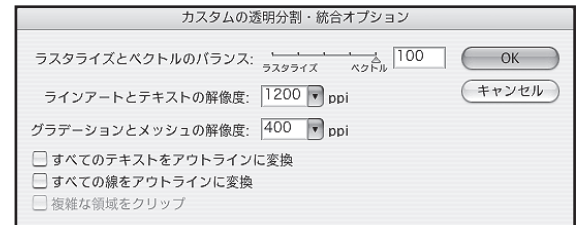
- ・スミのせ：スミベタのオブジェクトは基本的に全てノセ処理となります。ノセにたくない箇所は出力カンブに指示して下さい。
- ・罫線：0.1 ミリより細い線は使用しないで下さい。ヘアラインも使用不可です。
また、細い罫線に網を設定すると点線になってしまいますので、ご注意下さい。

●配置画像(写真データ)について

- ・画像モード：CMYK またはグレースケールにて作成して下さい。線画の場合、2 階調を使用して下さい。デジタル画像等、RGB 入稿される場合は弊社での変換作業が必要となります。ご相談下さい。
- ・解像度：印刷線数の 2 倍以上が必要です。（175 線で印刷する場合、原寸使用で 350dpi）
線画の場合は 600 ~ 1200dpi が必要です。
なお、必要以上に解像度の高い画像を入稿された場合、作業効率向上のために弊社にてリサイズさせていただく場合があります。
- ・保存形式：EPS 形式にて保存して下さい。また、エンコーディングはバイナリまたは JPEG(最高画質)にて、その他の項目（ハーフトーンスクリーン情報等）は全てチェックを外して下さい。（パソコン画面のスクリーンショット等、デジタル風の写真の場合、JPEG 圧縮をかけると画像荒れが目立ってしまいます。階調のはっきりした写真にはバイナリを使用して下さい。）
線画の場合は tiff 形式にて LZW 圧縮オプションを使用することでサイズを大幅に縮小できます。
- ・貼り込み：イラストレータ上で貼り込んだ場合、リンク不良によるトラブル回避のため、貼り込み先のイラストレータファイルと同一階層に保存して下さい。

● Illustrator データについて

- ・ ト ン ボ：「メニュー/オブジェクト/トンボ/作成」は使用しないで下さい。
「フィルタ/クリエイト/トリムマーク」を使用して下さい。
- ・ 不要オブジェクト：作成したトンボより外にオブジェクトがはみ出さないようにして下さい。面付け時トラブルの原因となります。
- ・ 透 明 機 能：バージョン9以降の透明機能を使用した場合、配置画像は埋め込んだうえで透明分割オプションを右のように設定して下さい。



- ・ 配置画像の添付：配置画像は全てイラストレータファイルと同一階層に添付して下さい。
修正を要する場合があるため、埋め込まれた元画像も添付して下さい。
- ・ 保 存 形 式：部品として貼り込む場合は EPS にて保存して下さい。出力ファイルの場合は AI 形式でも構いません。

● QuarkXPress データについて

- ・ フォント：欧文フォントを含む TrueType フォントは使用しないで下さい。使用する場合は Illustrator でアウトライン化したものを配置して下さい。
- ・ 文字修飾：日本語に対するボールド、イタリック等は正しく出力されません。
欧文に対しては、使用する書体にボールドやイタリックがある場合のみ正しく出力されます。
- ・ 配置画像：配置画像の保存形式は全て EPS か TIFF 形式にて、可能な限りクオークファイルと同一階層に添付して下さい。
- ・ 版面外部品：版面にかからないオブジェクト（折りトンボなど）は出力されません。
- ・ X T e n s i o n：デフォルト以外の XTension 使用の場合は、その旨明記して下さい。場合により対応できない場合もあります。
- ・ 出力ファイルの収集：出力ファイルの収集では、孫リンクファイル（Illustrator 上で配置された画像など）は収集されません。ご注意ください。

● PDF データについて

- ・ 可能であれば Adobe Acrobat Distiller で変換設定を PDF/X-1a にして PDF を作成してください。
- ・ フォントはすべて埋め込んでください。
- ・ 画像圧縮は高解像度にして下さい。

● InDesign データについて

- ・ プリフライト：プリフライト機能を使用して使用フォント、RGB 画像の有無、使用インク等の問題を事前にチェックしてください。
- ・ パッケージ機能：リンク画像や欧文フォントを自動で収集する機能があるので、添付モレによるトラブルを防ぐためにもパッケージを行ってください。